

社会福祉学部

<平成30年 一般前期>

総合問題 (配点 500 点)

1 (配点 140 点)

【出題意図】

高等学校で習得した基礎学力、文章理解力、設問の趣旨にそって表現する能力を問う問題である。具体的に示すと、1. 作者の意図が理解できるか、2. 作者の考えを参考に発展的に考察できるか、3. 語彙力はあるかに関する能力を問う。

【解答例】

問 1

(ア) 抗 (イ) 不可避 (ウ) 磨耗 (エ) 代謝 (オ) 精製

問 2

生命は、秩序をもって合成と分解を繰り返し、個体の死をもってひとつの活動は終わる。死を含む生命活動そのものが、次世代へのバトンをつなぐ役割を果たすなど自己の命が他者の命につながることである。(94 字)

問 3

薬物を摂取するより、薬草を丸ごと食べたほうが効果はある。薬草は、複合的なスペクトルを持つ薬物群のためバランスを回復するのに有効だからだと考えられる。つまり部分的な回復を目的にしても体は全体の均等を保とうとしているので、このような発想自体が還元主義の限界を意味する。(131 字)

問 4

普通でいるとは、自然界に逆らい時計の針を元に戻そうとしてサプリメントを飲んで若さを保とうとするのではなく、生命活動に逆らわず、動的平衡に身を任せて生きるというようなことである。(88 字)

2 (配点 110 点)

【出題意図】

文章の読解力、設問に沿って適切に記述できる能力、論理的に思考する能力を問う。

【解答例】

問 1

自分自身は知の高みにいつづけながら、相手ではなく見下さない自己に価値をみいだしている知識人の傲慢さがあり、しかも自分自身は傲慢さに気づいてすらいない。また、パネリストもそのことに気づいておらず、素晴らしいこととして紹介されていたから。(117 字)

問 2

ウ 交わらない

問 3

いずれも交わることのない他者へのまなざしで、それは自己確認の役割をはたし自己の価値を肯定するから。(49 字)

問 4

近代的個人である私たちは、自己肯定的な偽善から完全に逃れることはできない。それを知った上で、弱者を交わることのない他者としてではなく、その人たちがいなければ自分自身の生きる世界が成立しないというような、ともに生きる関係をつくる必要がある。例えば、地域の仲間・友人として障害者と関係を結び、意見を交わし一緒になって地域づくりをすることなどが考えられる。(175 字)

3 (配点 140 点)

<出題意図>

高等学校卒業程度の学力と基礎的な英語の知識を前提として、受験者が、(i) 英文を正確に把握できる「英語読解力」、(ii) 読解した英文の内容について、適切かつ簡潔な表現で説明を与えられる「日本語運用力・表現力」、および (iii) 平易な語彙と文法を用いた「英語表現力」を備えているかを問う。

これら3つの力は、大学入学後に、専門的知見を英語で書かれた文献から積極的に求めることで、自身の専門に対する理解を深め、かつ自身の研究・実践の成果を積極的に発信し、多様な文化的背景を持つ人々と英語を共通言語としてコミュニケーションを図り、さらには、そういった人びとと将来にわたって協働していく技術や態度を身につける上で、必要不可欠なものとする。

<解答例>

問 1

援助は、他者の助けになりたい、と生まれつき願っている多くの人に自然に備わった素質のように思われる。

問 2

In

問 3

M(m)any students in helping skills classes

問 4

○、 ×、 ×、 ×、

問 5

the ability to

問 6

B

問 7

stories about their initial attempts at assisting others (25 点)

4 (配点 110 点)

<出題意図>

- ・表で示されたデータから群間の差や傾向を読み取り、文章に表現する力を問う
- ・表のデータをもとに、適切な計算を行う力を問う。

<解答例>

問1 ①と②の数値を求めた後、「同性の友人だけ」と「同性・異性の両方」の二つの項目について、70歳代前半と後半の人数を加算すると解答を得ることができる。

279人

問2 ③は男性と女性で別々に人数を計算し加算してから百分率を求める。

32.2%

④は100.0%から他の項目の割合を減じて求める。

2.4%

*なお、④を先に算出してから③の数値を求めることもできる。

問3

同性の友人だけの人が多く、同性・異性両方の友人をもつ人が少ない。(32字)

問4

友人は同性の人だけとする人は男性より女性に多い。(24字)